

# 平成25年度 学校自己評価システムシート (県立児玉高等学校)

目指す学校像	学力の向上と部活動の充実をすすめ、心身ともに健全な人間の育成を通して、地域に愛され信頼される学校
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>基礎学力・学習習慣の定着を図り学力の向上に努める</li> <li>保護者・地域との連携を強化し、信頼される学校づくりを推進する。</li> <li>規範意識の向上と部活動・学校行事をさらに活性化し、自主性・自立性を育成する。</li> <li>職業観を育成し、進路希望の実現を図る</li> </ol>
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	5名

学 校 自 己 評 価					年度評価 ( 2月 1日 現在 )	
年 度 目 標			年度評価 ( 2月 1日 現在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	達成度	次年度への課題と改善策
1	補助教材・視聴覚機器を用いるなど分かり易い授業を展開しているが、授業をあまり理解できない生徒が少なからずいる。学習習慣を身に付け、目的意識を持って学ぶことのできる生徒の育成及び学習意欲のある生徒をさらに伸ばすことが必要である。	・学習習慣の定着及び学力の向上 ・学習環境の改善	・1学年に少人数学級と習熟度授業を実施する。 ・課題提出等の継続的な指導を行う。 ・課題テストを年3回、一般常識テスト年2回実施する。 ・漢字検定、英語検定、情報処理検定、ワープロ検定を実施する。 ・必要に応じた補習を実施する。 ・「未来を拓く『学び』推進事業」を有効活用する。	・基礎学力が定着し成績優良者は増加したか。成績不振者は減少したか。 ・課題が提出されて、成績不振者は減少したか。 ・各種検定の実施状況と合格者数は増加したか。 ・アンケート調査による生徒評価は向上したか	B	・基礎学力の定着を目指し、継続して少人数学級、少人数指導を継続して行い、成績不振者を減少させる。 ・成績優良者の増加を目指す。補習への参加者の増加や、検定試験の受験者が増加するよう指導する。
2	保護者・中学校等に情報発信をしているが、本校の特色を理解されていない面がある。本校の取組や特色など教育活動全般についての広報活動を一層充実させる必要がある。また、保護者の学校への関心は高いが、総会等への参加者は多くない。PTA活動等については意識啓発が必要である。	・保護者・地域からの要望への迅速な対応 ・広報活動の充実	・学校案内を充実し、HPを随時更新する。 ・中学校訪問、学校説明会、体験入学等を充実させ実施する。 ・学校施設開放を推進する。 ・学校だよりの発行及び県立学校ニュースへ情報を提供する。 ・スクールバス及び空調設備などの教育環境を充実させる。 ・「ふれあい体験の推進校」を有効活用する。	・HPの更新は随時行えたか。また、アクセス数は増えたか。 ・学校説明会等への参加者は増加したか。 ・中学校訪問等を積極的に行い、受検生数は増加したか。 ・学習環境を整えることができたか。 ・地域との交流を通して信頼を得ているか。	B	・生徒募集が課題である。本校の実態が正しく理解されていない部分もあり、検討する必要がある。 ・学校説明会を工夫し、部活動のみの説明会や、進路を意識した説明会なども検討し実施する。 ・部活動の中学校との交流をさらに進める。
3	基本的な生活習慣が確立できていない生徒や学校不適応感を持つ生徒が各学年にいる。生徒理解に基づいた指導を継続する必要がある。	・整容指導の徹底及び規範意識の醸成 ・自主性・自立性の育成	・毎月、学年集会を実施する。 ・日常的、定期的に整容指導、遅刻指導を実施する。 ・チャイム着席を徹底する。 ・北部地区生徒指導委員長校としての業務を有効活用する。 ・年2回、保護者、警察と連携した交通安全活動を実施する。 ・部活動及び学校行事で生徒の達成感が高まる指導を行う。	・服装・頭髪等の校則、交通マナーが遵守されたか。 ・遅刻、欠席は減少したか。 ・生徒の問題行動は減少したか。 ・中途退学者数は減少したか。 ・部活動及び学校行事に意欲的に取り組む生徒が増加したか。	A	・全教員による遅刻指導、下校指導を来年度も継続して行う。 ・服装の違反者がいるので継続して指導を行う。 ・自転車事故の防止のため、変形ハンドルの禁止を徹底する。 ・中退者は減少したが、きめ細かく指導しさらに減少させる。
4	近年、高校生の就職が厳しくなっているが、本校生徒は年々就職希望者が増加している。しかし、進路決定に取り組む時期が遅い生徒も少なくない。学年、進路指導部が連携して早い時期から進路実現に向けての系統的・段階的な指導が必要とされる。	・多様な進路希望への適切な対応 ・就職内定率、進学状況	・総学、LHRにおいて進路学習を実施する。 ・分野別説明会を実施する。 ・各種資格試験を実施する。 ・進学補習の充実及び小論文・面接指導を実施する。 ・進路情報誌等を発行する。 ・外部機関と連携する。 ・就職支援アドバイザーを有効活用する。	・進路情報誌の発行回数は増加したか。 ・就職希望者は全員内定したか。 ・進学希望者は全員合格したか。 ・各種資格検定合格率は向上したか。 ・ハローワークと連携して就職指導ができたか。 ・本庄市雇用対策協議会と連携による企業訪問は順調に実施できたか。	A	・就職希望者全員の内定を目指し、早い段階からの意識付けを行う。 ・各種資格検定試験の希望者を募り、合格率を上げる。 ・企業訪問では、2年生全員の参加を目指す。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日 平成26年3月8日	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績不振者の減少は、全体の底上げにもつながるので評価できる。今後もきめ細かく指導して欲しい。</li> <li>・各種検定等で、目的意識を持たせるようにして欲しい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の取組をHPでもっと発信して欲しい。いろいろな取組を行い成果が出ているにも関わらず、地域に十分理解されてな部分がある。</li> <li>・部活動での地域や近隣中学校との連携の成果は出ている。さらに交流に努めて欲しい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・下校指導等で服装の乱れを注意している野で、改善が見られるが、継続して欲しい。</li> <li>・町内清掃は、学校の取組が見えるので継続して欲しい。</li> <li>・登下校時に挨拶をする生徒がかなりいる。悪い点ばかりが先行しがちだが、基本的な生活習慣が身につけている生徒も多数いるので、その増加を期待する。また、遅刻指導の際に挨拶運動を取り入れて欲しい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済状況が厳しい中で、就職希望者の90%以上の内定者を出したことは評価できる。今後も継続して指導して欲しい。</li> <li>・早い段階での、進路の意識付けに取り組んで欲しい。</li> </ul>	